

2020. 11. 16 第69号

くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1 あと会広報事業部
TEL (082) 856-0222
<https://www.kunikusa.or.jp/>

題字 升味 美佐子様



2月 コロナ感染症対策会議を zoomによるテレビ会議で実施

世界各国で新型コロナウイルスによる肺炎が流行し、日本でも感染者が増加しています。医療法人社団あと会、社会福祉法人あと会では、国の方針や自治体の指導に基づき感染防止に努めております。このたびの新型コロナウイルスの特徴を踏まえ、あと会ではこれまで下記感染対策を実施しております。

ご利用者、ご家族のみなさま、そして関係者の皆様におかれましても、感染防止にご協力いただき、心より感謝申し上げます。今後とも職員一同感染防止に努めて参りますので、引き続きご協力よろしくお願い致します。

コロナウイルス感染症対策として法人の実施している対策について

1 国内感染者が初めて確認された1月以降、マスク等、衛生材料の備蓄状況を確認し必要備蓄量を増やし発注しております。世界的な流行により、現在も確保が困難な状況ではございますが、引き続き確保に努めて参ります。

2 阿戸矢野地区、ふかわ地区、でじま地区の施設管理者をオンライン（Zoomによるテレビ会議）でつなぎ、毎週コロナ感染症対策会議を開催し、各事業所の衛生材料の確認、コロナウイルス感染症の動向や職員への啓蒙方法、感染者が事業所内で発生した場合の手順等を確認しています。

3 厚労省通知に従い、職員に対しては出勤前に健康状態のチェックを徹底する等感染予防について啓蒙するとともに、感染者が発生した場合のケア方法について研修を実施しております。

4 コロナ禍でも利用者に「よろこび」や「やすらぎ」を感じていただくために、各事業所ごとに感染対策に努めながら、小グループごとのイベントを実施しております。

5 現在は、予約制で人数制限もさせていただいておりますが、面会を実施しております。また面会が難しい方はオンラインでの面会を3月より実施しております。



6月 面会制限一部解除、アクリル板越しでの面会



4月 面会制限中の為、窓越しにご家族と面会



3月 面会禁止が続く中、zoomを使いオンライン面会

百歳のお祝い



でじま・くにくさでは、100歳を迎えられたご利用者とご家族が記念の写真撮影を行い、長寿を祝われました。

撮影当日、ご利用者はご家族が加工された特製のブランケットに身を包み、来所されたご家族と地域交流スペースにて対面されました。コロナ禍以降、ご家族とご利用者が共に過ごせる機会が少なくなりました。限られた時間ではありましたが、久しぶりに家族団らんの時を過ごされ、最後に記念写真の撮影が行われました。

記念写真は、ご利用者の居室にも飾らせていただいております。

（でじま・くにくさ）

生活相談員 岡崎 悠希



長期化するコロナ禍で不安の中、皆を一つの目標に向かわせてくれたのがこの納涼祭でした。

納涼祭を行うにあたって施した装飾のテーマは「夏祭り」。色使いで涼しさをまた元気に泳ぐ金魚たちで祭りのワクワクを表現しました。飾り付けている時には利用者様から「涼しげだね」「ええのが出来た」と声を掛けて下さり祭りへの逸る気持ちを抑えて準備を進めました。納涼祭当日、甚平や浴衣に着替え祭りが始まりました。夏祭りと言えば屋台メニュー。いつもと違う雰囲気と食事で利用者様の笑顔が溢れていました。祭りの最後には職員からサブライズ演奏のプレゼント。ピアノとフルートとギターの重奏でユニットの心が一つになり温かい空気に包まれました。季節の飾りや音楽は気持ち豊かにしてくれます。季節の移り変わりを感じられるように私たちの取り組みはこれからも続きます。

（特別養護老人ホームでじま・くにくさ）

介護職員 田原 純子



でじま・くにくさでは、9月に特養と有料、10月にデイサービスでそれぞれ焼肉会を行いました。例年であれば、1Fの地域交流スペースに集まって頂き、中庭でお肉や野菜を焼いたりするのですが、今年はコロナ禍で密をさけるため、各ユニットで実施しま

した。「久々にこんなにたくさんのお肉を食べた」、「においだけでも満足よ」と嬉しい言葉を頂くことができました。コロナの影響で外出できないご利用者にとって良い気分転換となったのではないかと思います。

今後もご利用者の皆様に、喜んで頂けるような行事を企画していきます。

（でじま・くにくさ）

管理栄養士 内海 美香



夏祭り

ふかわくにくさでは「祭りの料理を楽しんでいただく」ことをコンセプトに、8月25日の昼食時に、祭りや露店にちなんだ料理を召し上がっていただきました。いつもと違ったメニューに、ご入居者も自然と期待のこもった表情をされていたことが印象に残っています。召し上がられたご入居者からも「おいしかったよ」「おいしいご飯を作ってくれてありがとう」といった喜びの声をいただきました。

今年は新型コロナウイルスの蔓延から秋祭り等の行事も中止となりましたが、今後もご入居者の皆様に喜んでいただくため、出来る中での行事の開催を企画していきたいと思っております。

（ふかわ・くにくさ）

支援相談員 吉田 将一



くにくさ苑
りは・くにくさ

第一弾 駅弁

シウマイ弁当



今年はコロナウイルスの影響で、あと会でも食事に関するイベントが色々と中止になっています。そこで何かご利用者に楽しんでもらえることを実施できないだろうかと考え、昼食時に「駅弁」を出しすることになりました。今回は横浜名物の「シウマイ弁当」を栄養課に手作りしていただきました。のしも手作りです。また職員が駅員の恰好をして、実際に駅で流れている音楽もかけて、本当の駅にいるかのような雰囲気を感じていただきました。

(こま・くにくさ)

介護職 新川 晴香



夏祭り

8月19日(水)に、くにくさ苑で毎年恒例の納涼祭が開催されました。今年は新型コロナウイルスの感染対策で制限付きの開催となり、ご利用者・職員のみでの開催となりました。

そのような状況下でも、佐藤料理長によるお好み焼きの実演を楽しんで頂いたり、夕食には散らし寿司や焼鳥等を召し上がって頂くなど納涼祭の雰囲気を味わって頂きました。ふだんお食事が進まないご利用者も「美味しいね」と沢山のメニューを召し上がっていらつしやいました。

(くにくさ苑)

生活相談員 中橋 希



施設長就任のご挨拶



ふかわ・くにくさ 施設長 真下 一策

広島大学第一外科教室の出身で、横山吉宏理事長の後輩にあたります。

1980年に「スポーツ医学」を志して上京しました。

東京・大森赤十字病院や千葉・井上記念病院で外科医として勤める傍ら、スポーツ医学を続けました。

1983年に日本体協(現、日本スポーツ協会)のスポーツ・ドクター第一期生になりました。特にこの30年はスポーツ選手の視覚(動体視力)などを研究しておりました。2年前に広島に帰り、今年の6月から「ふかわ・くにくさ」の施設長としてお世話になっていきます。よろしくお願致します。

事務長就任のご挨拶



社会福祉法人 事務長 要田 豊

朝、出勤したら先ほど入所者のお一人が旅立たれたと知らされました。数時間後、担当されていた介護職員や多くの施設職員に見送られて施設を後にされました。

これまで経験したことがない、このような体験を4月に勤務を始めて以来4回は経験しました。私にとっては非常に重たい出来事で、日常的に人生の終末と向き合いながら豊かに生活しておられる利用者の方々やそれを支えておられる施設スタッフの為に何ができるかを常に意識しながら、私がこれまで歩いてきた行政経験を活かせたらと思っています。

令和元年度 事業報告

- (1)法令遵守の徹底
例年通り各拠点ごとに全職員参加の研修を継続して実施し、全職員に法令遵守の徹底を行った。定期的に、外部講師を招いて法令遵守に関する研修も別に実施し、今後ますます社会の関心が高まる中、個々の職員に徹底することができた。
- (2)サービスの質の向上と事例発表大会の実施
各施設・事業所ごとにサービスの質の向上を目的とした事例発表大会を実施した。21事業所・部署により発表を行い、関連の深い種別毎に5つの種別に分かれて実施。法人内の他の事業所の取り組みの水平展開を図った。
- (3)適正な法人維持資金の積立
BSCを用いた事業計画を事業所ごとに立案し、財務目標を明確にし収益の向上を図った。事業所ごとの強みを伸ばしながら弱みを克服していくアフションプランを作成し実践している。
- (4)優秀な人材の確保
法人本部で採用を一括して行い、就職説明会を年間2回実施し、延べ46人に参加いただくことができた。結果、全国的な求人難にもかかわらず、令和2年4月には10名（うち介護福祉士5名、社会福祉士3名）の新卒者採用、目標達成に至った。
- (5)積極的な法人情報の発信
より分かりやすく、また興味をもっていただけでもHPを刷新した。25周年誌の内容を盛り込みながら、あこ会の方向性やサービスの詳細等がより理解いただけるのではないかと感じている。今後、定期的に情報発信を行いつながりながら最新の情報をお伝えしていく。
- (6)教育体系・キャリアパスの改善とコア人材の育成
各専門職種による部会により、専門性を向上させるような取組を継続し、コロナウイルス感染症防止のため、Zoom等のテレビ会議用ソフトを使いながら定期的な情報交換を行いながら各専門職種の質の向上、各事業所の独自色を残しつつも普遍的なサービスを提供できるように努めた。
- (7)海外交流の促進・新しい市と提携
スウェーデン・ブルーブ市との人材交流を目的とした研修を実施し、本年度は、グループで2名の現場職員を派遣。ブルーブ市からも現場職員の受入れを行い、現場レベルでの交流を行った。本交流事業は次年度以降も引き続き継続実施する。また、ドイツからのボランティア留学生についても引き続き受け入れている。
- (8)マニュアル類の整備、5S運動の徹底
本年度は、コロナウイルス感染症の発生に伴い、感染対策について週一度Zoomによる会議を行いながら、コロナウイルス感染症防止の取組をグループ全体で水平展開を行いながら実施した。感染防止を行いながら情報を蓄積し、今後の感染症BCP策定に繋げていきたい。
- (9)地域貢献事業の推進
本年度も家族介護者教室等のサロンに専門職を積極的に派遣し、地域福祉の増進に寄与することができた。地域包括ケアシステムが地域にも浸透していきつつある事を実感しつつ、地域の中の介護施設に果たされた役割を考えながら、次年度以降も社会福祉法人の使命として地域に愛される施設づくりを進めていく。

令和元年度 決算状況報告

社会福祉法人あこ会
令和2年3月31日現在

単位：千円

事業活動計算書	
サービス活動増減の部	
サービス活動収益	2,255,988
サービス活動費用	2,151,432
サービス活動増減差額	104,556
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益	15,995
サービス活動外費用	29,268
サービス活動外増減差額	△13,272
特別増減の部	
特別収益	4,829
特別費用	84
特別増減差額	4,744
当期活動増減差額	96,028
前期繰越活動増減差額	1,291,861
次期繰越活動増減差額	1,387,890

財産目録

単位：千円

資産の部	金額	負債の部	金額
1. 流動資産	1,266,220	1. 流動負債	332,849
2. 固定資産		2. 固定負債	1,309,224
(1) 基本財産	2,348,742		
(土地)	(661,724)		
(建物)	(1,687,018)		
(2) その他の固定資産	164,747	負債合計	1,642,074
固定資産合計	2,513,489	差引純資産	2,137,635
資産合計	3,779,710	負債・純資産合計	3,779,710

単位：千円

貸借対照表			
資産の部		負債の部	
流動資産	1,266,220	流動負債	332,849
基本財産	2,348,742	固定負債	1,309,224
その他	164,747		
固定資産			
		純資産の部	
		基本金	283,656
		国庫補助金等	466,088
		特別積立金	
		次期繰越活動	1,387,890
		収支差額	
計	3,779,710	計	3,779,710

12月の行事予定
12月 餅つき

このほかにも、毎月コンショッピング、誕生日会が行なっています。

最後に、新型コロナウイルス感染症対策には、手洗いや咳エチケットなどに加え、3つの密「密閉・密集・密接」を避けることが重要とされています。先が見えないことは不安ではありますが、「やまない雨はない」「明けない夜はない」の言葉を信じ、一人ひとりができること日々行っていくことが大切だと思います。新型コロナウイルスの一日も早い終息を職員一同祈っております。

くにくさ苑 介護職 武田 正登



暦の上では立冬を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。春先から新型コロナウイルスの感染拡大が世界各国で深刻な状態になっています。5月には緊急事態宣言を受け、さまざまなイベントの中止や延期、自粛等で皆様大変な思いをされたかと思えます。また、同時にマスクやアルコール消毒等の不足もあり、開店の店先に長い行列が見られた光景も記憶に新しいかと思えます。

本号は、5月発行予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、今月まで自粛させていただきました。本号の2面では、毎年恒例の夏祭りの変わりに行われた、納涼祭を記載させていただきました。例年とは違い、規模を縮小しての納涼祭ではありましたが、ご利用者はもちろん職員も終始、素敵な笑顔で楽しまれておられました。面会制限が続く中、今後も施設内で可能な限りできる取り組みや行事を準備し、行っていきたいと思っております。